

議会だより

No.73

平成22年(2010)  
5月17日発行

# さわやか まち

さわやかに 歴史と未来の 出逢うまち



上郡のマスコットキャラクター  
円心くんとエイトちゃん

こんなことが決まりました

## 3月定例会

平成22年度予算  
前年度より5.7%減

P.2~4

平成22年度の施策

P.5

付託審査報告

P.6

委員会報告

P.7

平成21年度補正予算  
請負変更契約

P.8

一般質問

P.9~13

変わりゆくわが町

P.13

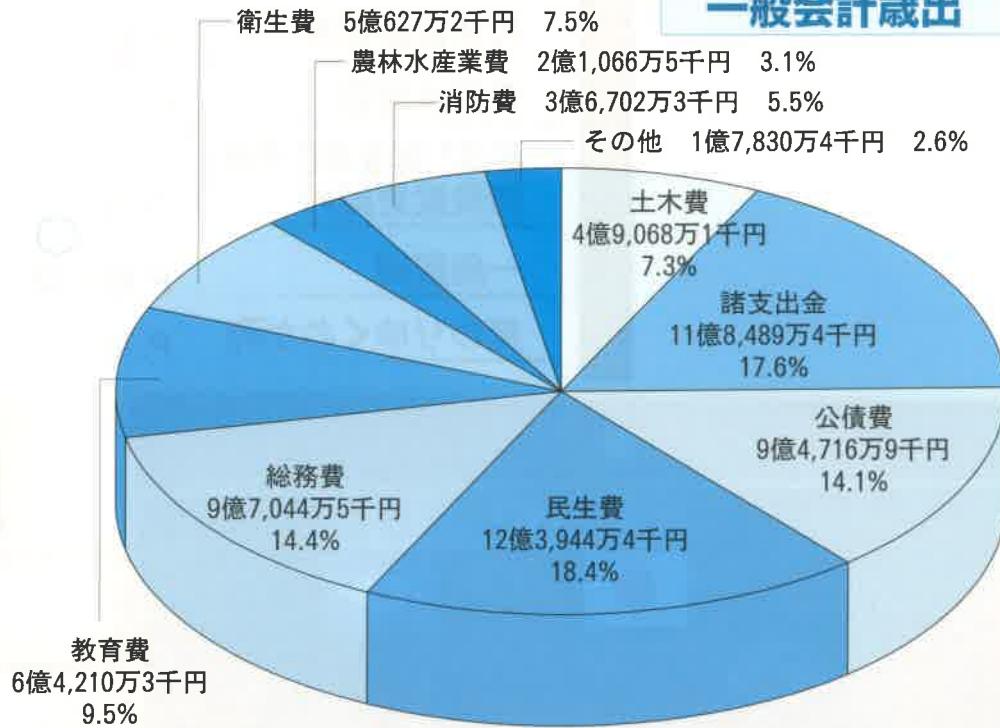


統合後初の山野里小学校入学式

# 5.7%減 万円



## 一般会計歳出



本定例会は3月2日から25日まで（24日間）開催され、監査報告などの諸報告、8名の議員による一般質問に続き、同意1件、工事請負変更契約2件、協議会を廃止する規約制定1件、町道の認定1件、町道の路線変更1件、財産取得1件、平成21年度一般会計補正予算及び特別会計補正予算7件が上程された。

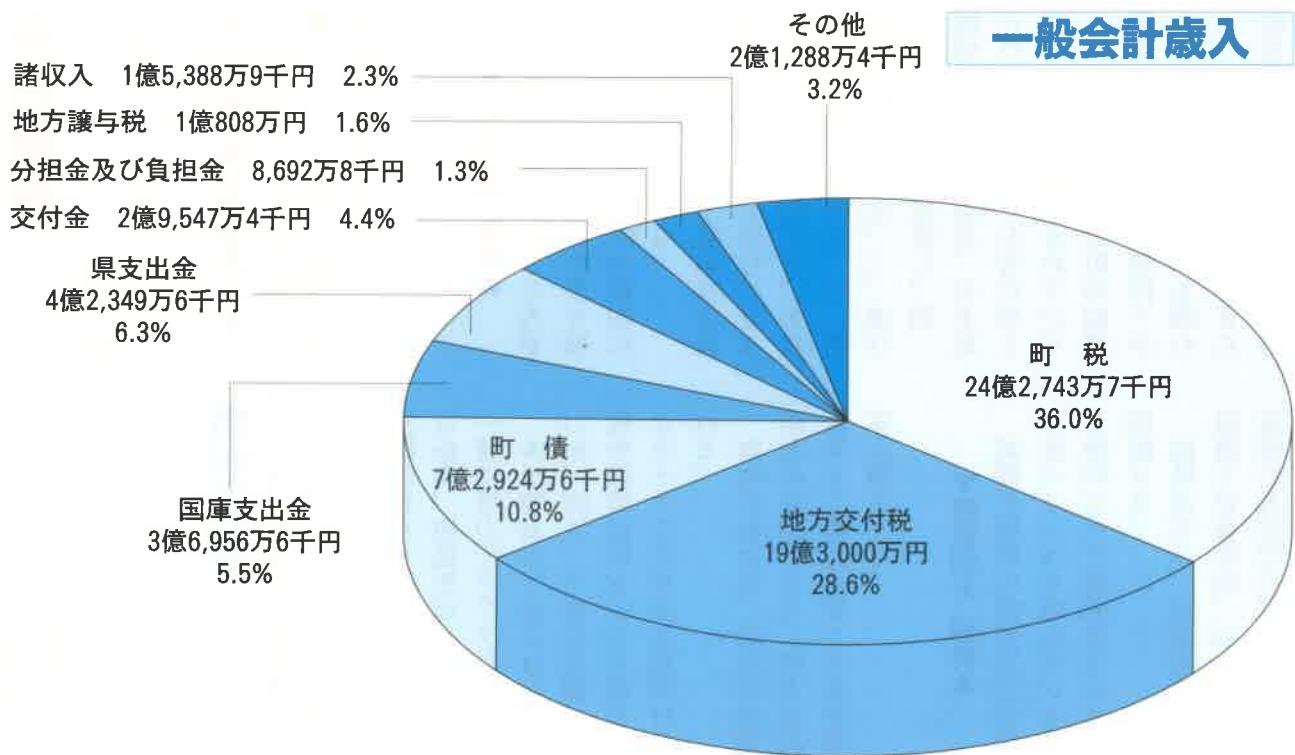
また町長の施政方針演説があり、全議員による活発な質問と町長による説明があった。引き続き平成22年度一般会計、特別会計の当初予算と追加議案「山野里小学校耐震補強・改修工事の契約締結の件」などが上程され、合わせて32議案を慎重審議の結果すべて原案通り可決した。

## 各会計予算総括表

(単位：千円、%)

会計名	平成22年度	増減額 (前年度比)	増減率	会計名	平成22年度	増減額 (前年度比)	増減率	
一般会計	6,737,000	△702,000	△9.4	特別会計	農業集落排水事業	297,205	△30,002	△9.2
住宅改修建設資金貸付事業	0	△8,600	皆減		公共下水道事業	923,561	144,780	18.6
国民健康保険事業（事業勘定）	1,762,343	△64,841	△3.5		公営墓園事業	28,137	△602	△2.1
国民健康保険事業（直診勘定）	71,733	11,063	18.2		ケーブルテレビ管理運営事業	60,900	13,270	27.9
老人保健医療事業	2,010	△3,011	△60.0		小計	4,781,087	29,129	0.6
後期高齢者医療事業	216,086	10,113	4.9		水道事業	1,093,360	△86,708	△7.3
介護保険事業	1,269,821	△4,583	△0.4		特別会計小計	5,874,447	△57,579	△1.0
簡易水道事業	149,291	△38,458	△20.5		合計	12,611,447	△759,579	△5.7

# 平成22年度予算は前年度より 総額126億1145



○公文書の訂正の方法及び記入方法、また、備品台帳等についても、指摘事項は改善されているが、今後とも適正に施錠できないものがあり、ロッカー、キャビネット等に施錠できないものがあり、個人情報等の問題を考慮して、買い替えも含め施錠できるよう検討されたい。

○職員の昇進、昇格について、職員の意欲、公平性において、優秀な人材を登用する昇進試験の実施を検討されたい。

○職員が共有すべき意義な研修内容は、他課においても実践されスキルアップに努めたい。

○小学校、幼稚園の統廃合に伴う跡地利用は、管理、財政、安全面を考慮し校区民の意向も踏まえ早急に方向性を示されたい。

○住民サービスの一環として住民票発行等の休日受付窓口を行い住民サービスを拡充されたい。

同意案件	
生年月日	昭和16年8月1日
氏名	大山昌之
住所	上郡町苔縄59-1
公私委員会委員の大山昌之氏が平成22年5月26日で任期満了。引続き同氏の選任に同意した。	

1月29日から2月8日の4日間、監査が行われた。主な意見は、次のとおりです。

## 監査委員の意見

質問 通勤手当と住居手当の支給につき見直しを求めているが、改善の程度は。

質問 住宅手当については県の基準に合わせており、改善は難しい。

質問 住民票発行等の休日受付窓口の開放によるサービス拡充を求めているが、町当局の反応は。

質問 未だ返事がない。

質問 1、6項目の事務事業執行状況を重点的に監査したところが、結果はどうか。2、そのうち劇毒物管理はどうか。

答 1、6項目につき改善はされているが、直す部分は担当課長に指示した。2、台帳管理、物品管理ともきちんととしている。

## 監査報告質疑

# 予算案に対する討論

## 【反対討論】 ▼工藤 崇 議員▲

### 1、定住自立圏構想に本気で取り組む体制が見えてこない

町長は当初「同構想で医療を充実し学校給食も実現したい」と発言。しかし同構想の具体案には「医師の確保策」等はなく、また「学校給食」の事業費は一円も計上されていない。

町長は「お年寄りや子どもとの給食センター実現」などを公約したが、当選後、「財政が苦しいので定住自立圏で、赤穂市、備前市の給食の余剰分で賄う」と方向転換。しかし、2市にその提案は蹴られ、再度「24年以降に上郡町で実施したい」と転換。にもかかわらず、上郡町の当初予算にも給食の調査費すらない。

### 2、おしつけの人権事業は中止を

同和問題を人権の中心として位置づけて実施している校区指定のPTCA事業や隣保学習会はやめ、防災等の身近

な地域づくりを主とした一般行政対応事業に切りかえるべきである。

### 3、都市計画税の見直しを

一部地域だけに最高税率を課している不公平な都市計画税は廃止を含め見直すべきである。

## ▼大政正明 議員▲

予算案には町民にとり大事なこと、必要なことが多々盛込まれているが、次の理由により敢えて反対する。

平成22年度の予算案及び施政方針に今年度取組むべき4つの問題点が存在する。すなわち一・財政建直し、二・新規行財政改革策定、三・進行中の総合計画の見直し、四・

本予算案は十分とはいえないが、防災、子育て支援、福祉や教育面においても努力しようとする点が多々見受けられる。

財政の健全化、防災や学校給食の実現にさらに努力されますよう意見を添えて本予算案に賛成する。

## ▼赤松初夫 議員▲

地域防災計画の改定、が予定されているが、それ等に対し充分な取組が盛込まれていな

い。特に財政面では町の起債残高（借金…254億円）が大きく増加しているにも関わらず、これまで行われてきた

町長等特別職及び職員の給与

に対する減額処置の解除が容易に行われた。予算案をこのまま認めることは町民に対し申訳ない。

## 【賛成討論】

## ▼小寺政広 議員▲

大変厳しい財政状況のなかでも要望や要請は、ますます多岐にわたり高度化している

なかで、町長をはじめ職員は一層の努力が求められている。

今後の防災計画や上郡町都

市計画マスター・プランの策定、行財政改革プランの続行など、上郡町の持続的発展を期待するとともに、町長の郷土上郡町を思う気持ちに期待を込めて、賛成討論とする。

財政の健全化、防災や学校給食の実現にさらに努力されますよう意見を添えて本予算案に賛成する。

## ▼阿部 昭 議員▲

1、予算内容の説明が細かく明確に記されており、私たちの質問もしやすくなり、透明性を高く評価したい。

2、財政的にも大変な状態にあり、債務残高もかなり増加しており、その中でこの予算を組むのは苦労があったものと推察する。

育児や介護の面で互いに助け合うシステムであるファミリーサポート事業、何より中学校卒業まで一人1万3000円支給という子ども手当てなど、欠かせない事業が盛りだくさん。若い世代の夢であつた学童保育もいよいよ始まる。

防災対策では、千種川床上浸水対策特別緊急事業に続く上流のいわゆる復緊事業を首尾よく遂行せねばならない。

今後の防災計画や上郡町都市計画マスター・プランの策定、行財政改革プランの続行など、上郡町の持続的発展を期待するとともに、町長の郷土上郡町を思う気持ちに期待を込めて、賛成討論とする。

## ▼井口勝智 議員▲

現在までの上郡町は、学校給食も学童保育も無く子育て世代、若者世代に力を入れない町といった内容であり、町内の若者は諦めていたところがあるのは事実であるが、新年度予算には、町長はじめ行政の方達が若者世代、子育て世代に力を入れていく姿勢が見えた。町長が、給食についての予算を計上すると言つて上がってきてなかつたことは非常にショックだったが、補正予算できっちりしてくれると信じて賛成する。

福祉面では、家庭相談委員設置で児童虐待、悩みを持つ家庭の乳幼児に対する配慮や、

よって、本予算には賛成するが職員にこの様な財政危機に対しての危機感があまり感じられないのは誠に残念に思う。

## 4

## 財産取得

電子黒板で勉強

### 小・中学校の教室に設置

化に対応するため、幼稚園・小・中学校等のテレビ（アナログ）をデジタルテレビに買い換える。同時に小・中学校等における教育用と校務用のパソコン、電子黒板を整備する。

購入財産：教育用コンピュータ等一式  
購入金額：5,916万7,500円  
購入先：扶桑電通(株)姫路営業所

(単位：台)

区分	小学校	中学校	幼稚園	公民館	合計
デジタルテレビ	42	6	4	7	59
電子黒板	5	1	—	—	6
児童生徒用パソコン	63	6	—	—	69
教職員用パソコン	33	18	—	—	51



▶ 各小学校に配備された  
50インチテレビ  
(上郡小学校)

ノートパソコンの配備  
(上郡小学校)

# 平成22年度の主な施策 町長の施政方針

## ①健康で安心できるまちづくり

○屋外拡声器による告知放送の実施。河川等の監視カメラ情報をケーブルテレビを通じた緊急Ｌ字放送の実施。

○独居老人、高齢者世帯へのヘルパー派遣、緊急通報システムの強化。児童虐待・母子家庭等の悩み相談のため家庭相談支援員設置事業を新設。

○心身の健康増進と豊かな人間形成のために、地域の特性を生かした上郡町食育推進計画の策定。

## ②豊かな自然を生かした魅力あるまちづくり

○米の個別所得補償モデル事業・水田利活用自給率向上事業を進め、水田経営所得安定対策への加入の促進。生産者の育成と安全・安心な食の提供および地産地消の推進。

○里山ふれあい森づくり事業の着手。町民が森林の大切さを認識する場である里山森林体験の森維持管理を推進。

○播磨科学公園都市の産業団たな交通手段の計画策定を行

地への、国・県や定住自立圏域の赤穂市、備前市と連携した企業誘致の推進。

○ゴミ処理広域化による循環型社会拠点施設の平成24年度中の施設整備。

○ケーブルテレビ整備事業は参画と協働の自主放送を目指し、やる気と活力が溢れるくるような手づくりで親しみの持てる番組づくりを推進。

## ③文化を育み心ふれあうまちづくり

○「夢をひらく教育」の取組みを推進し、児童・生徒のやる気に満ちた活力ある教室、信頼される学校づくりの推進。

○スクールガード中心の学校、通学路の安全対策の強化。

○少子化、核家族化に対し安心して遊ぶ場として昨年度から実施の「放課後子ども教室」に加え新たに山野里小学校で「学童保育」を実施。

## ④元気とにぎわいを生み出すまちづくり

○地域公共交通の利便性の確保のため、上郡町公共交通対策協議会で交通空白地での新たな交通手段の計画策定を行

い、3年間で本格実施。  
○安全でおいしい水の安定した供給。

○町民の参画を促すパブリックコメント制度の活用。

○徹底した行財政改革推進。○職員の能力・実績を公正かつ適正に評価し、処遇に反映できる戦略的な人材育成システムの構築。

## ⑤住民が主役となるまちづくり

○寄付制度のPRと発信。

○上郡町ふるさとづくり応援寄付制度のPRと発信。

○町民の参画を促すパブリックコメント制度の活用。

○職員の能力・実績を公正かつ適正に評価し、処遇に反映できる戦略的な人材育成システムの構築。

なお重点施策として「安心安全のための防災対策」、「地域の活性化と定住促進」、「地域で支える子育て支援」の3事業に取組む。

# 伊賀審査報

総務文教常任委員会  
(3月8日開催)

役場の組織機構が変更に

事務移譲、制度改正や

新たな事業の発生等、

行政を取巻く環境が変化

している。「市民サービ

スの維持・向上」「簡素

で効率的な組織・機構」

を目指し、行政改革担当

者会議の提案に基づき見

直した。10課2局30係が

12課2局31係になる。多

数決採決を行った。

〔意見〕

- ・町幹部の意志統一がで  
きていない案件を上程  
すべきでない。

- ・統合、縮小の時代に企  
画総務課の2課分割は  
逆行しているのでは。

・地方分権の進展の中、  
国の縦割り行政に縛ら  
れない町独自の組織改  
革を行うべきである。

・事務分掌案と組織機構  
は表裏一体であり、同  
時に提案すべきである。

・代休振替につき具体的な運  
用方針が示されないかぎり  
時に提案すべきである。

**超過勤務手当支給割合の変更**

国家公務員の時間外勤務手当の支給割合の改正とともに、  
う町条例の改正で、60時間を  
越える超過勤務手当の支給割  
合が125／100から150／100等に。  
多数決採決が行われた。

〔少数意見〕

・代休振替につき具体的な運  
用方針が示されないかぎり  
単なる賃上げになる。町財



▲新設された保険課

民生建設常任委員会  
(3月8日開催)

特別会計から一般会計へ

住宅改修建設資金貸付事業  
は平成8年度の終了で回収事  
務が縮小し、一般会計で取扱

うためには提案された。県下で  
は2市1町のみが特別会計扱  
いで、県の指導もある。

当初の貸付人数148人、  
貸付額3億3910万円が、  
平成22年2月26日現在それぞ  
れ17人、3405万5486円(償還率92・3%)である。

〔質疑〕  
問 回収の見通しは。



▲上郡靈園

・防災計画を早急に作成する  
ための組織、人員配置に重  
点を置くべきである。

・担当係長からの現場の意見  
もよく反映されており、職  
員の士気も汲み取れる。

政ひつ迫中で理解できない。

**上郡公民館の使用料決まる**

新築された上郡公民館の使  
用料は、他の地区公民館よ  
りスライドされたもので妥当

いる。時効、不納欠損の制度  
は適用できずお願いするだけ。

〔意見〕  
本邦の制度であり、国に  
対策を求めよ。

〔意見〕  
町外の人へも開放

町外者に使用を認めた場合  
にも、町民の要求に対応でき  
る区画数は確保できることを  
示してほしい。

〔意見〕

町外者に連絡する。

〔質疑〕  
問 管理人を定めず建立  
した墓の管理はどうするか。

〔質疑〕  
良好な管理状況を保つよ

う町外者に連絡する。

〔質疑〕

町外者に連絡する。

〔質疑〕  
診断書手数料等の見直し

診療所で発行する各種診断  
書の手数料(昭和33年制定)  
の見直しが、診断書の多様化  
に対応のため提案された。4

種別が6種別に細分化され、  
健康診断書、簡易な診断書又

は証明書の価格は据置かれた

が、他は増額に。  
〔質疑〕  
問 民間病院より高額では。  
答 診断書作成手数料は自由  
診療であり自由に設定できる。

以上慎重審議の結果、本条  
例の一部改正3件は原案のと  
おり採択すべきものと決した。

〔質疑〕  
問 回収の見通しは。

# 委員会報告

2月18日に総務文教常任委員会が、2月15日に民生建設常任委員会がそれぞれ開催され、各課が行っている事業等の進捗状況などが報告された。

## 総務文教常任委員会

事業（敬老会事業、愛育班活動補助事業、高齢者大学千種川学園事業）につき、第2次

○町税の減収が顕著  
本年1月末現在の国保税を含めた全町税収納額は、徴税率が前年より1・82ポイント

増加しているのに、約380

万円の減収となつた。町民税の約3300万円減が最大の要因で、不況による景気低迷の影響と考えられる。

## ○競売による収益

差押え物件の第1回インターネット競売が行われ49件の入札参加があり、10万4千720円の収益があつた。今後も隨時行う。

## ○事務事業評価を実施

平成21年度に実施した16の事務事業について、第1次評価（内部）と第2次評価（外）が行われた。そのうち3

評価で第1次評価より低い評価が出た。上郡町ホームページで詳細を公表する。

## ○会計検査の結果

ケーブルテレビ事業の会計検査が1月18日～22日に実施された。補助対象経費の考え方相違があり、現在調整中である。

## ○町ホームページの更新など

3月1日より町のホームページが大幅に変った。更新にともない、緊急時にホームページが緊急情報画面に切り替わるようになった。また上郡チャンネル（11ch）が4月からは緊急時に緊急L字放送に切り替わるようになる。

## ○地域活性化・きめ細かな臨時交付金の使途

上郡町への交付限度額見込は5534万4千円で、平成22年度のカープミラー設置、道路補修事業等に、公共投資臨時交付金の交付限度額見込は1億6639万6千円で学校耐震工事費に充当予定。

## ○定住促進助成金の応募が盛況

平成21年度末で20件の申込みがある予定で、当初予算額（300万円）に255万円の増額補正の予定。

## ○上郡町地域公共交通対策會議（法定）の立ち上げ

表記の法定協議会が設立される。今後は国の補助を申請するための地域公共交通総合連携計画を1年間で策定し、3年かけて実証運行する。協議会は町が主宰し、アンケート結果を考慮してデマンド方式、コミュニティバス等の方式を、商工会、バス会社、タクシー会社等の意見を聞きながら模索する。

○鞍居診療所の利用状況  
受診者数は1日当たり44人・1ヶ月当たり899人、診療收入は1日当たり25万8000円・1ヶ月当たり536万9000円でいずれも前年より増加している。

## ○上郡靈苑使用状況

平成22年2月15日現在、305区画のうち受付区画数は188区画（使用率61・6%）、墓碑工事完了数は96基。

## 民生建設常任委員会

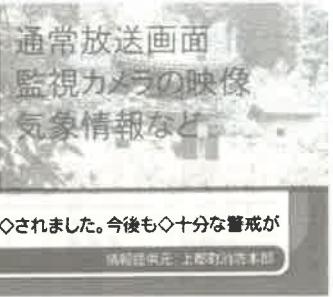
○上郡靈苑使用状況  
平成22年2月15日現在、305区画のうち受付区画数は188区画（使用率61・6%）、墓碑工事完了数は96基。

## ○鞍居診療所の利用状況

受診者数は1日当たり44人・1ヶ月当たり899人、診療收入は1日当たり25万8000円・1ヶ月当たり536万9000円でいずれも前年より増加している。

## ○上郡靈苑使用状況

平成22年2月15日現在、305区画のうち受付区画数は188区画（使用率61・6%）、墓碑工事完了数は96基。



## ○町ぐるみ健診受診状況

平成20年度の受診者数が大幅に減少している。

### 「意見」

受診率向上のため、十分な周知を行うよう要望。

### ○女性特有がん検診受診状況

平成22年2月1日現在の状況について、乳がん・子宮がん検診共、国の目標（50%）に達していない。

平成22年度も継続されため、検診の案内を受診意識を高めるよう努める。

### ○平成22年度水稻作付

#### 生産調整面積

水稻数量配分	247万4350kg
a当たり	571kg
生産調整配分率	(58.96%)
転作目標面積	805.448ha
水稻面積	330.525ha

残事業費、約8億円だが事業計画期間内（26年度まで）での完成は、町の財政状況を考慮すれば厳しい。

### ○駅前土地区画整理事業

#### 工事請負契約締結の件

##### 山野里小学校耐震補強・改修工事

契約の目的 山野里小学校耐震補強・改修工事  
契約の方法 制限付き一般競争入札  
契約金額 244,650,000円  
契約の相手方 赤穂市木津字稻荷山1325-96  
　　株式会社 森島直樹  
所長

#### 工事請負変更契約締結の件

##### 屋外拡声器設置工事

契約金額 変更前 110,397,000円  
　　変更後 125,815,200円  
契約の相手方 神戸市中央区海岸通11番  
　　株式会社 NTT西日本一兵庫  
代表取締役社長 廣瀬雄二郎

##### 上郡町情報通信網整備工事

契約金額 変更前 1,407,000,000円  
　　変更後 1,436,311,116円  
契約の相手方 神戸市中央区海岸通11番  
　　株式会社 NTT西日本一兵庫  
代表取締役社長 廣瀬雄二郎

## 熱回収施設・リサイクル施設建設工事

### （ゴミ焼却場施設）

工事内容：熱回収施設・リサイクル施設の設計、建設  
発注者：にしはりま環境事務組合  
契約相手：日立造船株式会社  
契約期間：組合議会議決の翌日～平成25年3月15日  
請負額：7,686,000,000円（税込み）  
入札方法：制限付一般競争入札



ゴミ焼却場  
予定地視察

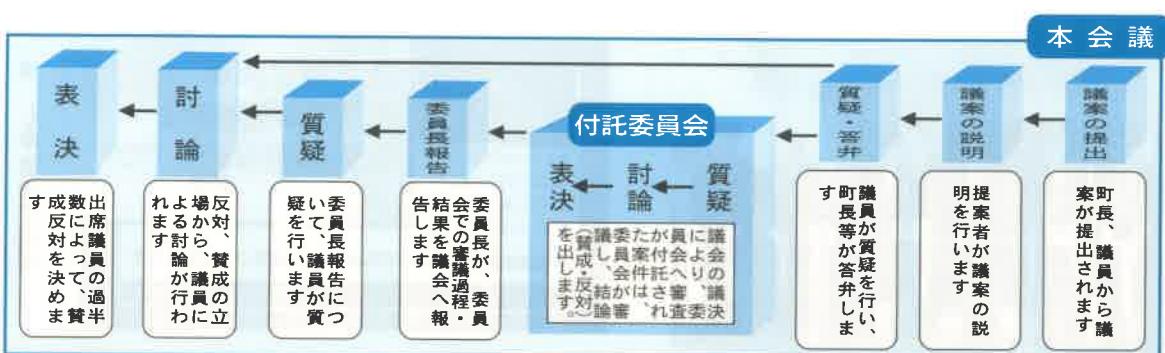
## 平成21年度予算の補正

（単位：千円）

会計名	補正前	補正額	補正後	主な補正理由
一般会計	8,229,547	376,600	8,606,147	国の2次補正に伴う増額及び耐震補強工事等の増
住宅改修建設資金貸付事業	8,600	0	8,600	歳入不足見込に伴う一般会計繰入金の増額
国民健康保険事業会計（事業勘定）	1,879,230	△118,995	1,760,235	医療費が当初見込みより減少したための補正
国民健康保険事業会計（直診勘定）	67,403	2,982	70,385	医薬品購入費の不足による補正
介護保険事業会計	1,274,629	99,330	1,373,959	保険給付費給付実績による介護給付費増額等に伴う補正
農業集落排水事業会計	349,511	60	349,571	維持管理費の精査による増額
公共下水道事業会計	762,257	200	762,457	整備事業費の確定等による増額
ケーブルテレビ管理運営事業	47,630	△9,788	37,842	ケーブルテレビ施設の保守内容等の見直しによる減額

## 議会あれこれ

条例や予算等は次の過程を経て決まります



# 一般質問



藤本ゆうき議員

- ①乳幼児医療費の窓口無料化  
②子供議会の開催  
③ヒブワクチン接種費助成
- ④危機管理体制の充実強化  
⑤県議会議員選挙区割りの見直し  
⑥病児保育の実施
- （1回当たり2千円）を助成する。今後広報等で周知する。
- これまでの山本町政に対する質問及び提言についての進捗状況を尋ねる。

- 町長 ①平成21年7月より実施している。
- ②平成22年夏ごろ実施予定である。
- （3）22年度の新規事業として予算を計上。接種費用の一部度は一時保育事業の実施に向

する。今後広報等で周知する。

これまでの山本町政に対する質問及び提言についての進捗状況を尋ねる。

④災害対応自販機設置については、管理面及び採算性等の問題があり町内2ヶ所のみの設置にとどまっている。また仮設トイレを含む備蓄物資については、全体的にさらに充実させていきたい。

（5）要望はしたが、災害により佐用郡が特例区として存置され赤穂市・郡は現状のまま。⑥病児保育実施には諸条件があり検討していないが、今年度は一時保育事業の実施に向

ける。今後広報等で周知する。

これまでの山本町政に対する質問及び提言についての進捗状況を尋ねる。

④災害対応自販機設置については、管理面及び採算性等の問題があり町内2ヶ所のみの設置にとどまっている。また仮設トイレを含む備蓄物資については、全体的にさらに充実させていきたい。

（5）要望はしたが、災害により佐用郡が特例区として存置され赤穂市・郡は現状のまま。⑥病児保育実施には諸条件があり検討していないが、今年度は一時保育事業の実施に向

## 提言を町政に反映したか

### 鋭意取り組んでいる

一般質問では、3月2日から3月3日までの2日間、8人の議員が質問に登壇しました。主な質問の内容、町長等の答弁の要旨は次のとおりです。

## 一般質問

ここが  
知りたい！

### 1番 藤本ゆうき 議員

提言を町政に反映したか……………P 9

### 2番 小寺政広 議員

町民と協働で検証を急げ……………P 10

### 3番 工藤 崇 議員

定住自立構想参加の利点は……………P 10

### 4番 阿部 昭 議員

ヒブワクチン公費助成の内訳は……………P 11

### 5番 井口勝智 議員

中学生の医療費無料化は……………P 11

### 6番 赤松初夫 議員

事業仕分けは公開の場で……………P 12

### 7番 大政正明 議員

新地域防災計画の策定方針は……………P 12

### 8番 橋本正行 議員

千種川河川改修事業について……………P 13

## 解説

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたって、疑問点をただし、町長、関係課長から回答を求めるものです。

定例会（3・6・9・12月）で行われ、臨時議会では行わないこととされています。



大鳥圭介公記念館



屋外拡声器設置状況

## 町民と協働で検証を急げ

職員の意見を生かしたい

問 昨年の豪雨災害について町は、「台風9号の豪雨による被害状況等の報告」という冊子を作成している。しかし、

町民が入らない検証は町民のものにはならない。早く、町

民と協働で豪雨災害の検証作業をおこなうべきだ。

町長 現場に派遣した職員、自宅で待機していた職員から

意見をとりまとめ灾害対策に生かしていきたいし、国や県、また佐用町のやっている結果を含めて対応していきたい。

問 佐用町の検証が出てからではなく早急に取り組みを始めるべきだ。



小寺政広 議員

## 定住自立圏構想参加の利点は

人口流出抑制には連携必要

問 定住自立圏ビジョン案に

は「赤穂市文化会館の改修事業（2億2千万円）」がある

くらいで、定住に一番重要である「医師の確保策」は無く、町長が主張してきた「学校給

は思えないが。

町長 国が「同案を3月までに急いで作れ。毎年見直したらいよ。」という理由で策定した結果、具体的なものが少



工藤 崇 議員

なく確かにインパクトがない内容となつた。5年～10年のスパンで考えるものと思つてゐる。

## 少子化対策について

問 平成22年度の具体策を示せ。

町長 以下のとおりである。

①中学終了迄の子供手当（1万3000円）は支給する。

②さまざまな悩みに対する家庭相談員の相談室の設置を考えている。

食計画」には1円も計上されていらない。私が指摘した通りの結果だ。人口流出が一番進んでいる上郡町がメリットを主張できない構想にこのまま

参加することに意味があるとは思えないが。

町長 国が「同案を3月までに急いで作れ。毎年見直した

らいよ。」という理由で策定

した結果、具体的なものが少

ることを整理して、上郡町に

当てはまるものはきちんとし

たい。河川を改修し、テレビ、屋外扩声器も使えるようになっ

てきた。急いで整備し防災計

画の見直し含めて対応してい

く。

▲ 危険箇所の点検

危険情報の数字分けを

問 ハザードマップは貴重な災害情報である。危険度を色分けとともに数字分けにするのはどうか。

町長 ハザードマップは、今回大幅に改定しようと考へて

いる。数字と色分けどちらがいいか勉強したい。



## ヒブフクチン公費助成の内訳は

県・町で約半額を助成



井口勝智 議員

### 中学生の医療費無料化は

#### 若者定住促進について

財政と見合わせながら検討する

**教育長**

統廃合後に全校対象の学童保育を検討しているが、

問 町内の地域格差をつけないためにも、学童保育の実施を全校対象に行うべきではない。

問 新年度予算に給食検討のための予算が計上されていないが、いつから検討・議論をするのか。

町長 標正予算に組み込みたい。平成24年～25年には学校

再編が終了するので、財政的

500円か1000円に決め

問 公明党兵庫県本部で1月末よりヒブフクチン接種への公費助成を求める署名運動を実施。集まつた署名数56万7千名の署名簿を井戸知事に提出、県は即決定した。本町も



阿倍 昭 議員

2月18日の説明会を受けて実施と決定した。深く感謝する。

公費助成の内訳と対象人数及び実施時期の説明を求める。

町長 対象人員は3回接種のゼロ歳児100名を3回接種、1歳から5歳児までは500人程度見込んでおり、本人負担が半額の4千円程度になると思う。実施時期は4月からの対応と考えているがワクチ

ンが不足しているので実施日は未定である。

都市計画マスター・プランのアンケート、なぜ全町でしないか

問 都市計画マスター・プランの見直しのアンケートを都市計画区域内に限定し実施、区域外の人の意見を聞く姿勢もない。強い差別感を感じる。このような機会に他の問題も含めて全町民に聞くべきと思う。



▶ 狹い排水路  
仲町（上郡地区）

町長 今回のアンケートは市街化調整区域の特別指定区域制度の活用のためのものだった。このチャンスに給食等の声も聞けたと反省している。

問 市街地の災害時の雨水路の危険箇所の総点検を求める。

上下水道課長 上郡1号幹線、仲町、市町、段町につき調査した。狭隘な道路であり地元自治会と協議していきたい。

な見通しをつけ、委員会の設置も検討したい。

問 市ではすでに実施している、中学生までの医療費の無料化はできないのか。

教育長 統廃合後に全校対象の学童保育を検討しているが、申し込みが10名に満たない場合、実施は予定していない。

問 新年度予算に給食検討のための予算が計上されていないが、いつから検討・議論をするのか。

町長 標正予算に組み込みたい。平成24年～25年には学校

再編が終了するので、財政的

500円か1000円に決め

て残りは町が負担する事はないのか。

町長 検討していきます。

問 副町長は、定住自立構想の協議会の中で発言が多いが、当町のための協議をする気はあるのか。

副町長 次回協議会からは、議員の意見を聞きながら、十分職責を果たしていきたい。



▶ 若者定住促進住宅の建設

## 事業仕分けは公開の場で

前向き検討する

町実施の事業評価について

「地方分権が進み財政ひつ迫のなか、行政運営の透明性・信頼性を高め、町民と一緒に

なって事業を進める仕組み作りが求められている」ということ

で事業仕分けを実施していることになっているが、公開の場で評価を行いその結果がどう見直され予算にどう反映されたかも公表すべきだが。

**町長** 仕分けは20年度からやっているが、2事業を中止し予算にも反映された。仕分けを

公開の場でとのことだが、現解を得たわけではないが、前向きに検討したい。結果の公示はしているが、改善計画は字数が膨大でテレビの自主放送で対応ができるか考えたい。

**問** 2年間で36事業の仕分けをやったが、400事業となると約15年かかるが。

**教育長** 数にはあまりこだわっていない。

**問** P T C A とすることで地域と一緒にした取組みが望ましいと思われるが、連係はうまくいっていないのでは。**教育長** 子ども会等各種団体と、緊密に話し合い協力しあないがしろにしたと言われても仕方がないのでは。

**町長** 新年度にやりたい。

**問** 地域防災会議開催の予定と検討内容は。

**町長** 4月にメンバーの選定をしたい。平成22年度中に計画策定をしたい。

**新地域防災計画について**

**問** 現計画には災害復興関連の記述がないがどうするか。またハザードマップとの関連

**企画総務課長** それも見据えて真に役立つものを作りたい。



大政正明 議員



赤松初夫 議員

## 新地域防災計画の策定方針は

本当に役に立つものを作りたい

上郡町地域防災会議の活動

問 災害対策基本法は各自治体の地域防災会議に科学的研究を基にした地域防災計画の作成・推進を求めている。現

行の地域防災計画には過去の災害の分析は無く計画の体を成さない。計画策定の過程を問う。

**副町長** 平成9年策定の計画を基に平成15・16の2ヶ年でコンサルタントに委託し策定した。大規模災害の項目が新たに加わった。

**問** 昨年8月9日の災害以来地域防災会議を開催したか。



上郡町地域防災計画

教育は地域との連係が大事

えるようなかたちは探つていただきたい。



▲ 登下校時の見守り

## 変わりゆくわが町

千種川河川改修工事が、急ピッチで進んでいます。工事の進捗に合わせて、変わりゆく千種川の風景を掲載しています。



▲ H22. 4. 20 テレビ塔から



▲ H22. 4. 20 駒山山頂より



▲ H22. 4. 20 (上郡橋) 役場屋上より



▲ H22. 4. 20 役場屋上より (隅見橋)

## 千種川河川改修事業について

住民の意向に沿って進める

公正で公平な立場で

問 用地買収について、住民の意向に沿って進められているのか。

技監 土地収用法などの法律



橋本正行 議員

問 河川改修工事に伴う住民への安全、安心意識については。

技監 床上事業の工事施工に

の規定に基づき、正当な補償を行うことになっている。そのため公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱に沿って準備を行い、公平で適正な補償を算定するようになっている。

問 生物、環境、水利、漁業権について、行政の今後の取り組み方とこれから始まる復旧等関連緊急事業（赤松地区）を中心とした河川改修される箇所

は、地域住民の良好な生活環境の保全、工事従事者の安全衛生、各工区間の工程調整を目的とする工事安全衛生協議会を光都土木事務所と施工業者で組織して、毎月1回の協議会を開催して、安全対策や事故防止に努めている。

技監 平成9年に河川法が改正され、治水、利水、に加えて河川環境の整備と保全という項目が追加され、将来目指すべき川の姿を定める河川方針と、今後10年から30年間の具体的な河川整備計画を定め、千種川委員会で協議され策定されており、現在自然環境づくりについて検討している。



上郡橋付近の変貌

についても、関連するので説明を求める。



船坂小学校閉校式



梨ヶ原小学校閉校式



統合後の登校風景（山野里公民館）

## 議会ホームページから 会議録がご覧になれます。

町のホームページからアクセスできます。  
(<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>)

## 傍聴へどうぞ!!

車イスもあります  
次回は **6月8日**開会予定

議会ホームページから会議録がご覧になれます。町のホームページからアクセスできます。（<http://www.town.kamigori.hyogo.jp/>）

桜の花も満開から花びらに、また新芽が伸びる季節になってまいりました。

4月は新年度の始まり、気の引き締まる思いであります。

さて3月議会が2日から26日までの25日間の会期で始まりましたが、3月25日に全議案が可決され、無事に議会を閉会することができます。これも議員の皆様方のご理解とご協力の賜物であり、感謝一杯であります。本年度の予算も厳しい財政状況のために、町民の皆様方のご負担をお願いしますが、われわれ議会人と致しましても、魅力ある町づくりの予算編成でありますので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の予算執行に当たりましても、今以上の監視の目を強化し、皆様方の信頼に応えてまいります。感謝

4月は新年度の始まり、気の引き締まる思いであります。

さて3月議会が2日から26日までの25日間の会期で始まりましたが、3月25日に全議案が可決され、無事に議会を閉会することができます。これも議員の皆様方のご理解とご協力の賜物であり、感謝一杯であります。本年度の予算も厳しい財政状況のために、町民の皆様方のご負担をお願いしますが、われわれ議会人と致しましても、魅力ある町づくりの予算編成でありますので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の予算執行に当たりましても、今以上の監視の目を強化し、皆様方の信頼に応えてまいります。感謝

桜の花も満開から花びらに、また新芽が伸びる季節になってまいりました。

4月は新年度の始まり、気の引き締まる思いであります。

さて3月議会が2日から26日までの25日間の会期で始まりましたが、3月25日に全議案が可決され、無事に議会を閉会することができます。これも議員の皆様方のご理解とご協力の賜物であり、感謝一杯であります。本年度の予算も厳しい財政状況のために、町民の皆様方のご負担をお願いしますが、われわれ議会人と致しましても、魅力ある町づくりの予算編成でありますので、なにとぞご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後の予算執行に当たりましても、今以上の監視の目を強化し、皆様方の信頼に応えてまいります。感謝

編集後記